

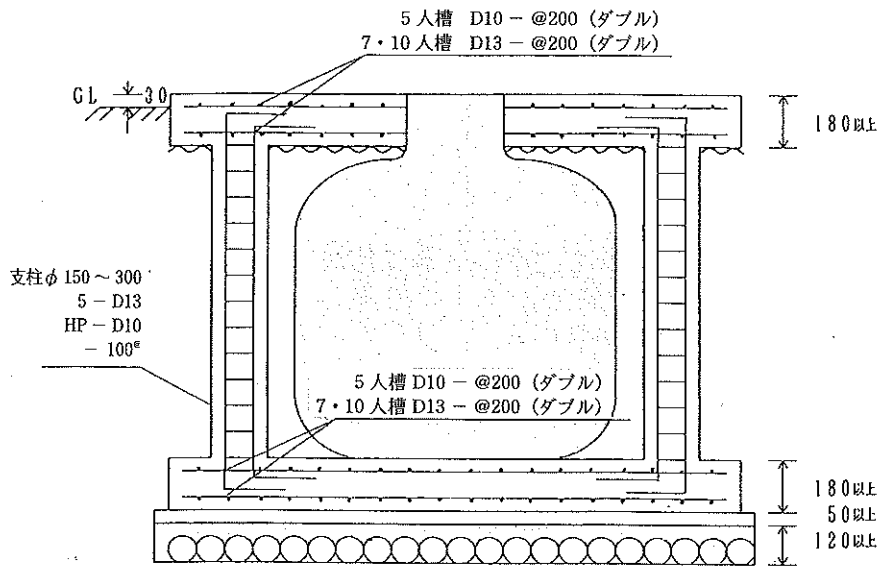
## 5 特殊工事

### 5-1 駐車場仕様

上部が駐車場となる場合の例を以下に示す。

単位 mm

基 礎	割 石		120 以上		
	捨 て コ ン ク リ ー ト		50 以上		
	ク リ ー ト	鉄 筋 コ ン	コ ン ク リ ー ト	180 以上	
上スラブ	ク リ ー ト	鉄 筋 コ ン	コ ン ク リ ー ト 厚 さ	180 以上	
			配 筋	5 人 槽	D10 - @200 (ダブル)
				7・10 人槽	D13 - @200 (ダブル)
支 柱	ク リ ー ト	鉄 筋 コ ン	直 径	φ 150 ~ 300 (4 ~ 6 本)	
			主 筋	5 - D13	
			フ ー プ 筋	D10 - @100	
開 口 補 強 筋			4 - D13 (ダブル)		



#### 支柱の本数及び配置について

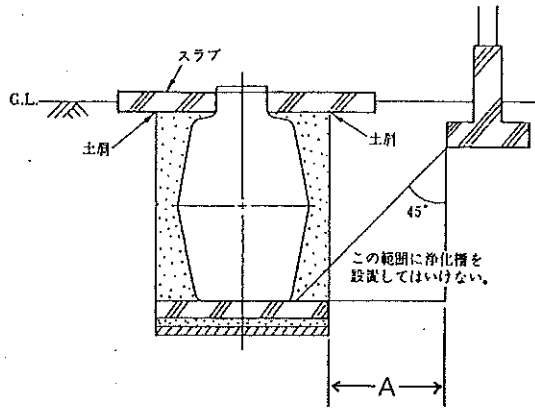
1. 支柱心間は長辺:短辺=1.25:1以内とする。  
上記比率に合わない場合は支柱の本数を増加すること。
2. 支柱の位置についてはスラブ外面より500mm以内に配置すること。
3. 国土交通省(旧建設省)の強度評定を取得し、荷重2t以下の負荷の対応ができる、支柱レスタイプの浄化槽も開発されています。設置場所や車の荷重、またメーカーにより仕様が異なるので、支柱の径と共に事前の調査・検討が必要です。

## 5-2 建物の基礎、交通量の多い道路際に設置する場合

### 工事の概要

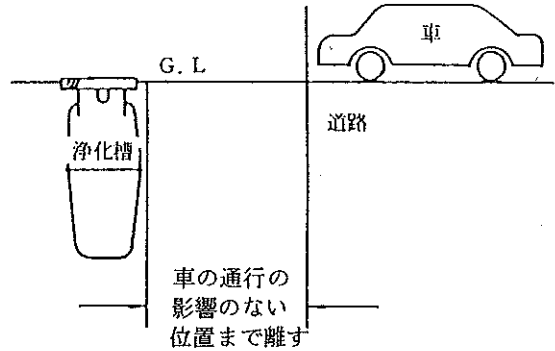
- ・建築物の基礎際、交通量の多い道路際等には、大きな応力が懸かっているため、原則として浄化槽の設置場所としては不適當であり、結論的にはこれらの応力を避けて設置する。

#### 建築物の基礎から離して設置する例



(注) Aの距離は浄化槽の高さだけ建物の基礎より離すこと。

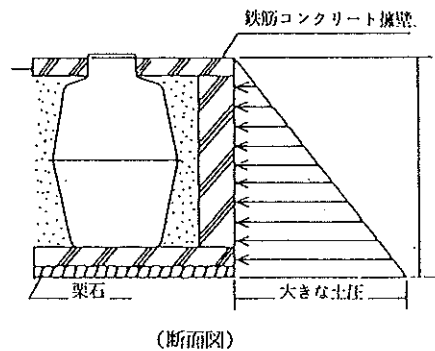
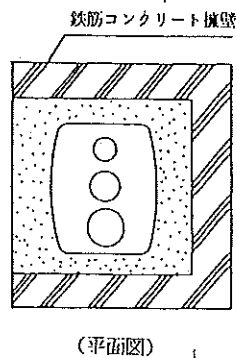
#### 道路際から離して設置する例



- ・やむを得ず設置する場合

・敷地の関係で、やむを得ず設置せざるを得ない場合には、鉄筋コンクリートの擁壁を設ける。

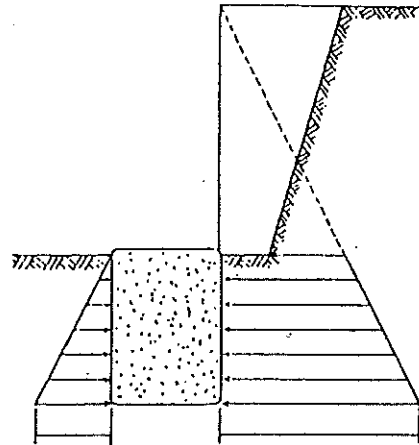
- ・施工仕様は、構造計算によること。



5-3 崖下に設置する場合

工事の概要

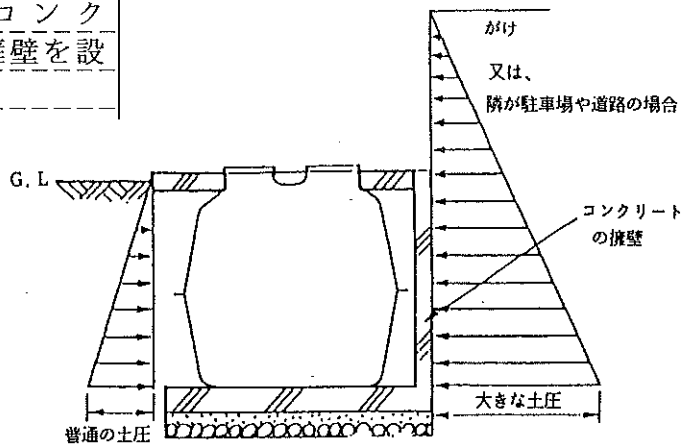
- 崖下には、大きな応力が懸かっているため、原則として浄化槽の設置場所としては不適位置であり、結論的にはこれらの応力を避けて設置する。



・やむを得ず設置する場合

・敷地の関係で、やむを得ず設置せざるを得ない場合には、鉄筋コンクリートの擁壁を設ける。

・施工仕様は、構造計算によること。



5-4 水場に設置する場合  
〔浮上防止対策例〕

工 事 の 概 要

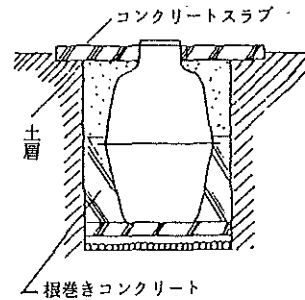
・掘削

・地下水や湧水の多い地盤の掘削は、釜場を設け、水中ポンプを用いて排水する。  
・また、この場合には必ず土止めをすることが必要である。この場合、矢板のみでは、不十分な場合が多いので、腹おこし及び切りばり支保工を組み立てることが安全である。

・据付

① 根巻きコンクリート  
重しコンクリート

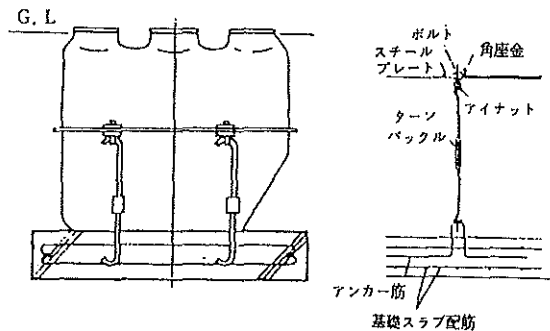
・本体の底部をコンクリートで固めることによって槽の浮上を防止する。



② ベースコンクリートと本体を直結する

・ベースコンクリート側  
ベース筋にフックを設けるか金具を鉄筋に接続する。  
・本体側  
フランジ部の吊り金具を逆に付け替える。  
・接続  
ターンバックル等で締結する

・ベースコンクリートと本体を直結して槽の浮上を防止する。



・スラブコンクリートを打たない場合、清掃のため槽内水を抜き出したとき、地下水の水圧と外部からの土圧を相乗的に受け、ベースコンクリートごと浮上し、傾いたり芯がずれたりする危険がある。